

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

画像の参照と整理

画像を表示する

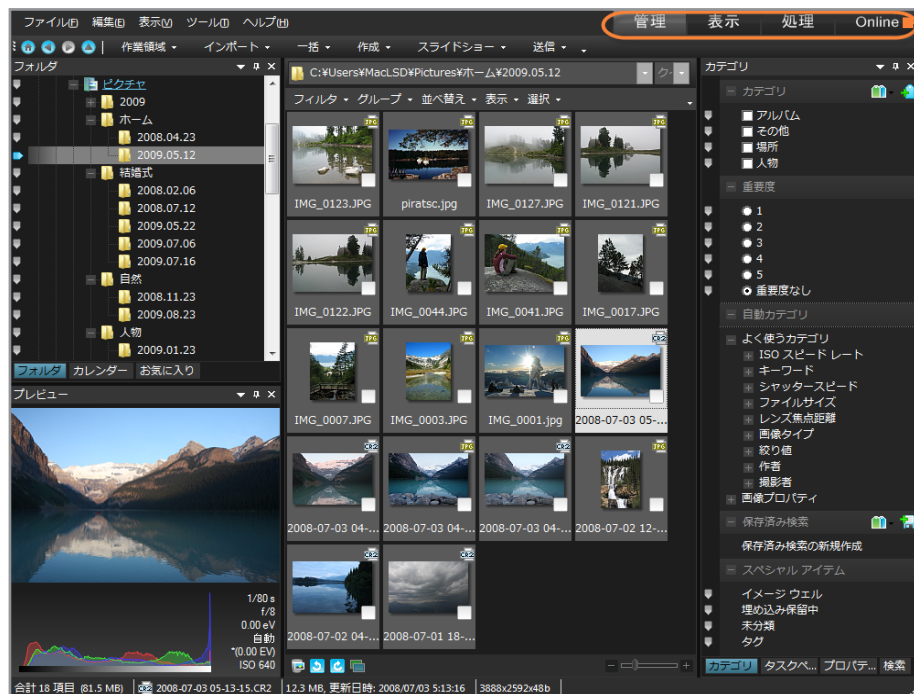
画像を処理する

「現像」と「編集」サブ
モードで画像を処理する

画像を公開する

まとめ

ACDSee Pro 2 を以前ご利用になっていて、今回 Pro 3 を使い始めたユーザーに朗報!今まで使い慣れてきたほとんどのツールを Pro 3 でも使うことができます。Pro 3 には新しいコンセプトとして、「管理」、「表示」、「処理」、「Online」の4つのモードが搭載されており、この順番は、まず画像を管理してから参照したい画像を表示し、必要な処理を行ってから公開する、というワークフローに沿った形でデザインされています。



Pro 3 に搭載されている「管理」、「表示」、「処理」、「Online」モードでは、ワークフローの作業段階別に応じたツールにアクセスすることができます。モードボタンをクリックして、いつでも別のモードに切り替えることが可能です。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

Pro 2 の「ファイル一覧ペイン」は、Pro 3 では「管理モード」と呼ばれています。「管理モード」を使用して、画像を参照したり、整理したり、重要度やタグを付けたり、画像の名前を一括変更したりします。

画像の参照と整理

画像を表示する

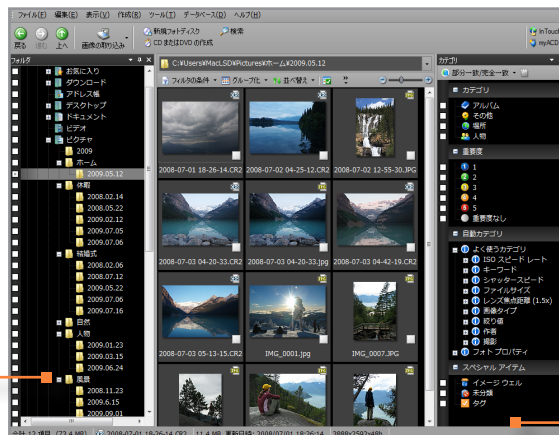
画像を処理する

「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

画像を公開する

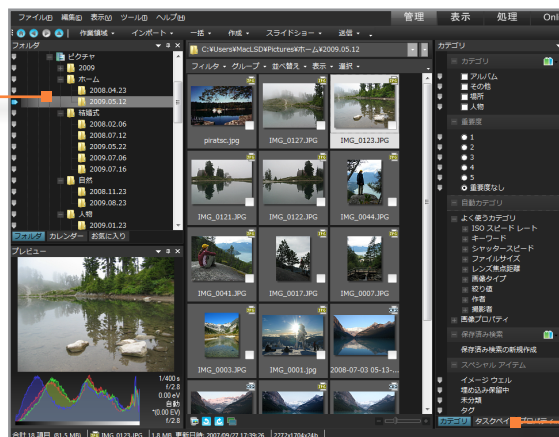
まとめ

Pro 2 の「ファイル一覧ペイン」



コンピュータに保存されているフォルダは、[フォルダ] ペインに表示されます。

Pro 3 の「管理モード」



重要度、タグ、キーワード、カテゴリを適用するツールは、[タスク] ペインで見つけることができます。このペインには、[プロパティ]、[データベース]、[検索]、[カテゴリ]などのタブが含まれています。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

Pro 2 で「ビューア」と呼ばれていたウィンドウは、Pro 3 では「表示モード」と呼ばれるようになりました。「表示モード」は、画像を参照したり、フルスクリーンで表示したり、キャプションやキーワードを追加したりするためのモードです。

画像の参照と整理

Pro 2 の「ビューア」

画像を表示する

すべての編集ツールは、Pro 3 では、処理モード内に搭載されています。

画像を処理する

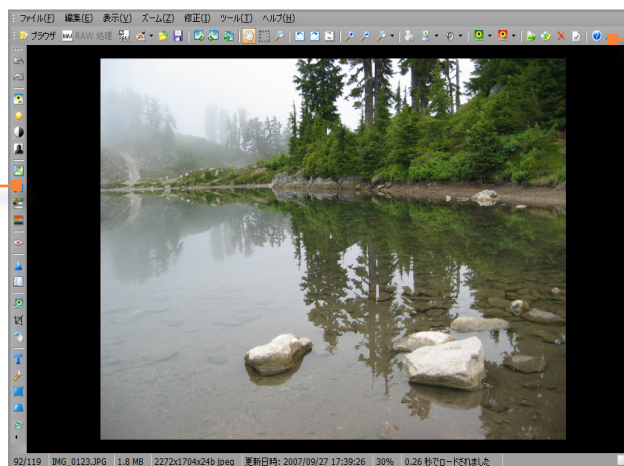
「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

画像を公開する

まとめ

Pro 3 の「表示モード」

これらのボタンを使用して、画像を回転したり、ズーム表示を変更したり、バスケットに画像を追加したりします。



画像の拡大表示などを搭載したツールバーは、Pro 3 では、スクリーン下部のツールバーに表示されます。



[表示] メニューから [プロパティ] を選択して、キャプション、キーワード、重要度やタグを追加します。

フィルムストリップでは拡大表示する画像を素早く見つけることができます。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

Pro 2 の RAW 処理機能は、Pro 3 では「処理モード」の「現像サブモード」に搭載されています。「現像サブモード」は、RAW、JPEG、その他のファイル形式の画像を非破壊編集するためのモードです。Pro 2 の「編集モード」は、Pro 3 では「編集サブモード」と呼ばれます。

画像の参照と整理

画像を表示する

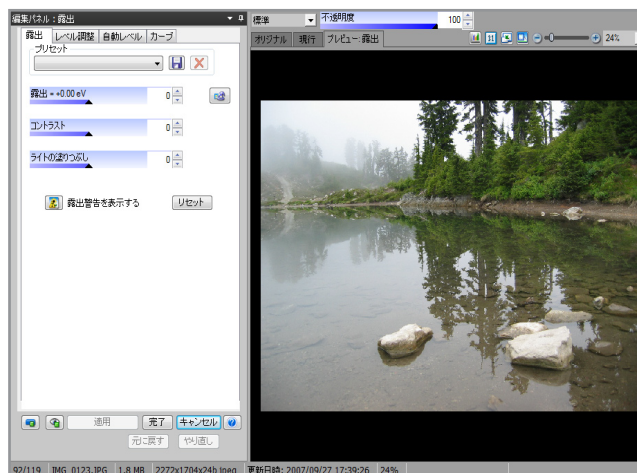
画像を処理する

「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

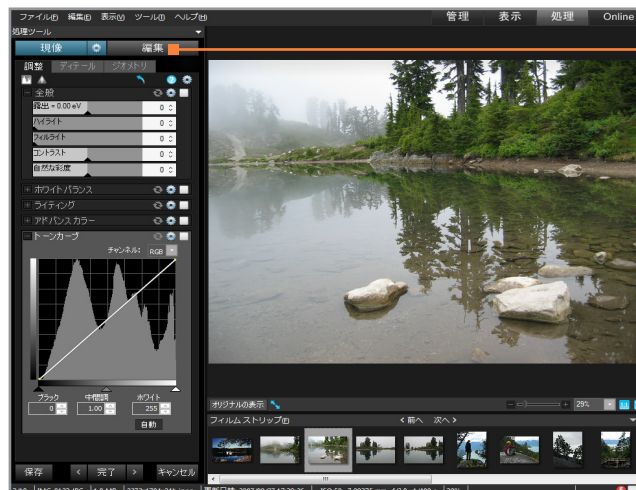
画像を公開する

まとめ

Pro 2 の
「編集モード」



Pro 3 の
「処理モード」



処理ツールは、現像サブモードと編集サブモードに分けられて搭載されています。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

処理モードには、「現像」と「編集」の2つのサブモードがあります。「現像サブモード」で画像全体の調整を行ってから、「編集サブモード」で画像の最終仕上げをします。

画像の参照と整理

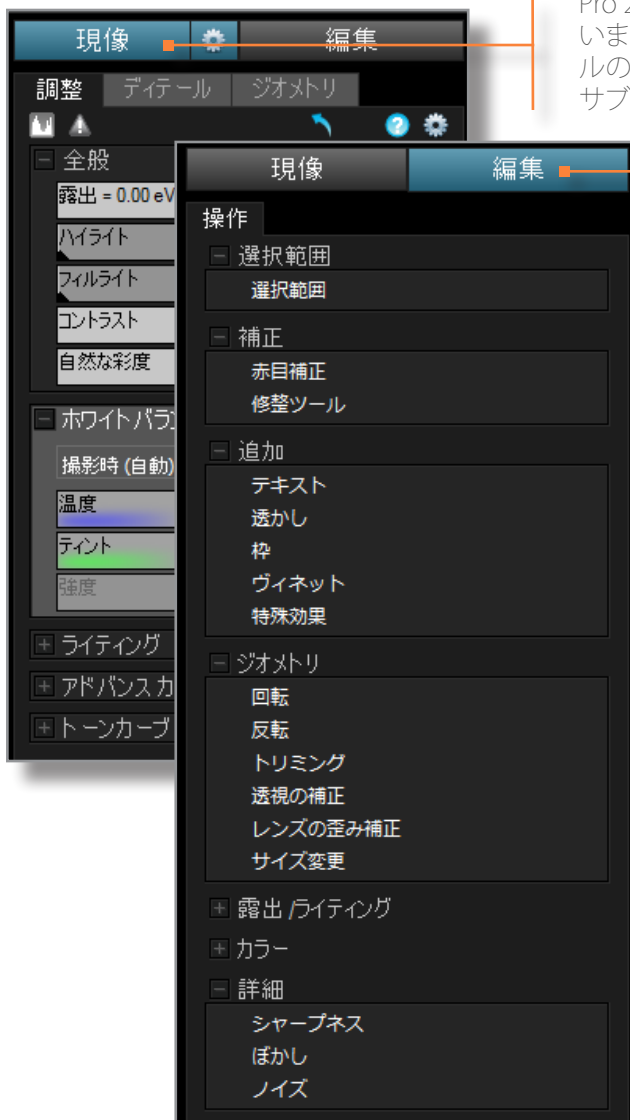
画像を表示する

画像を処理する

「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

画像を公開する

まとめ



Pro 2 では、RAW ファイルを扱う場合 [RAW 処理] にアクセスして処理を行いました。Pro 3 では、RAW、JPEG、その他のサポートされている画像ファイルの非破壊編集を「現像サブモード」で行うことができます。まずは、現像サブモードで必要な処理を行います。

「編集サブモード」では、フレーム (枠)、テキスト、透かし、特殊効果などを追加して、画像の最終仕上げをします。「選択範囲」ツールを使えば、画像の特定部分だけを編集することが可能です。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 既存ユーザー向け Pro 3 クイックツアー

はじめに

Pro 3 に新しく搭載された「Online モード」では、ACDSee Online の無料アカウントに画像をアップロードしたりダウンロードすることができます。

ACDSee Online は、Pro 3 ユーザーのための画像共有 & 保存サービスです。

画像の参照と整理

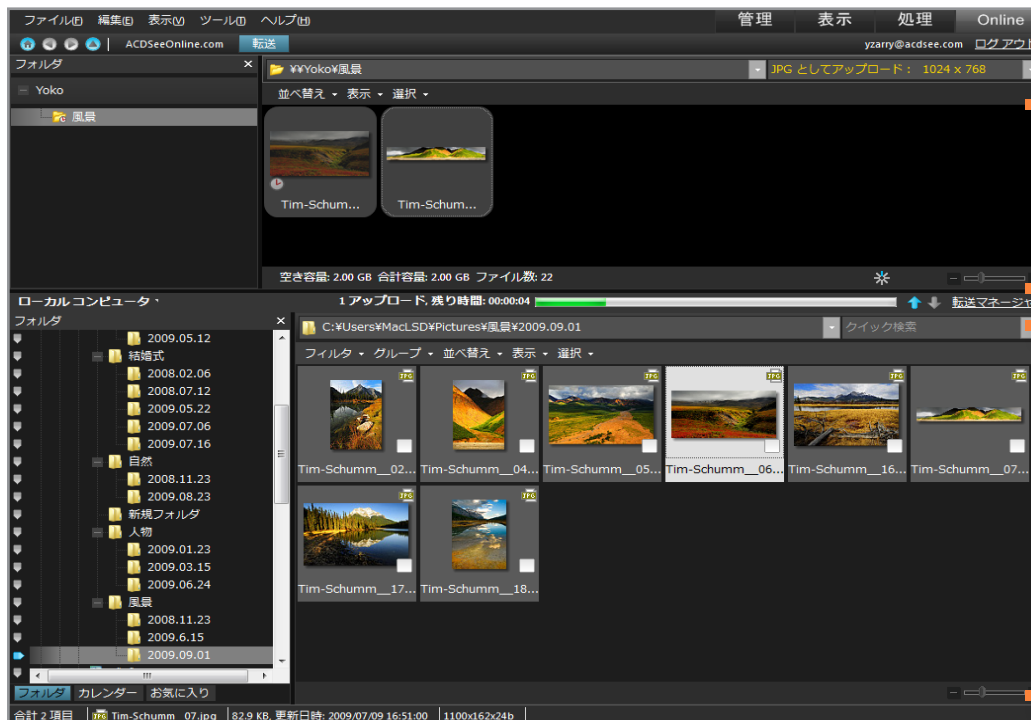
画像を表示する

画像を処理する

「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

画像を公開する

まとめ



「Online モード」の上半分には、ユーザーの ACDSee Online アカウントに保存されている画像が表示されます。

「Online モード」の下半分には、ユーザーのコンピュータに保存されている画像が表示されます。上半分のウィンドウに向かって画像をクリック & ドラッグしてアップロードします。

はじめに

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

1 画像の参照と整理

» ワークフローの作業段階と目的に応じて、「管理」、「表示」、「処理」、「Online」モードを切り替えて使用します。

2 画像を表示する

» ワークフローの初期段階では「管理モード」を使用して、画像を参照したり、整理したり、タグやキーワード、カテゴリなどを追加したりします。

3 画像を処理する

» 「表示モード」では、拡大ツールを使用して画像の詳細を確認したり、必要な情報を追加したりします。

4 「現像」と「編集」サブモードで画像を処理する

» 「処理モード」には、「現像」と「編集」の2つのサブモードがあります。「現像サブモード」で必要な調整を行ってから、「編集サブモード」で最終仕上げをします。

5 画像を公開する

» 「現像サブモード」では、RAW、JPEG、その他のサポートされている画像ファイルの非破壊編集を行うことができます。

6 まとめ

» 「編集サブモード」では、赤目補正や美肌効果を適用したり、「選択範囲」ツールで画像の特定部分だけを編集したり、高度な画像編集を行うことができます。

» 「Online モード」を使って、ACDSee Online で画像を公開したり保存することができます。